

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは
「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

◎：達成（計画事業量100%以上）

○：半数以上達成（50～99%）

△：未達成（50%未満）

通し 番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△ の場合の理由等
						30年度 計画	元年度 計画	2年度 計画	30年度	元年度	2年度			
1. 地域包括ケアシステムの強化			【目標】 認知症や重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で 自分らしい暮らしを続けることができるよう、切れ目のない支援や サービスの提供に向け、地域包括ケアシステムの強化を図ります。											
(1) 相談・支援体制の強化														
1	総合相談窓口の充 実	介護予防・地域支援 課	関係機関と連携し、適切なサー ビス・情報提供などの支援を行 うため、総合相談窓口を充実し ます。	総合相談窓口の充実 検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	窓口相談件数 12,607件	
2	地域包括支援セン ターの体制強化	介護予防・地域支援 課	地域における総合的な福祉のマ ネジメントを担う地域包括支援 センターの体制強化のために、 運営方針に基づくセンター業務 の評価を実施し、PDCAの充実に よる効果的な運営を図ります。	地域包括支援センターに 対する後方支援 実施	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	◎		
		介護予防・地域支援 課		地域包括支援センター評価 検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
(2) 地域における支援体制の推進														
3	地域ケア会議の実 施	介護予防・地域支援 課	地域の医療・福祉・介護関係者 等の専門多職種による個別事例 の検討を通じて、地域の課題や ニーズを把握し、地域づくりや 新たな施策、社会基盤の整備な どにつなげます。	地域包括支援センター 地域ケア会議 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	△		
		介護予防・地域支援 課		介護予防のための地域ケア 個別会議 検討 (モデル実施)	実施	実施	実施	実施	検討 (モデル実 施)	実施	中止			中止の理由 ・高齢者本人が参加することが前提の 会議のため、新型コロナウイルスの感 染が続いている中で開催することはリ スクが高い。 ・具体的な地域の活動（通いの場・ボ ランティア活動など）が機能しておら ず、本人に対し実行性の高い提案をす ることが難しい。
		介護予防・地域支援 課		地域ケア全体会議 3回	年3回	3回	3回	3回	3回	2回	2回			事業見直しによる開催回数の変更のため
2. 生きがいづくりの推進			【目標】 高齢者自身が生きがいを持って、地域の担い手となり、充実した 高齢期を過ごすことができるよう、高齢者の社会参加や地域交流を 促進していきます。											
4	シニアライフ応援 計画	生涯学習課	シニア世代が趣味や経験をいか して、いきいきと暮らしていけ るよう、生きがいづくりや地域 活動への参加につながるような 講座等を企画、実施します。	シニアライフ実行委員会 10回	年10回	10回	10回	10回	11回	10回	0回	△		新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため、開催を中止した。
		生涯学習課		シニアライフ講演会・講座 3回	年3回	3回	3回	3回	3回	3回	0回			
5	生涯学習ラーニン グスクエア	生涯学習課	高齢者を対象に、健康をはじ め、社会生活、福祉等の課題解 決に向けた学習、また生きがい や経験を社会にいかすための講 座を実施します。	シニアライフセミナー 5回	年5回	5回	5回	5回	5回	5回	1回	○		新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため、実施回数の減。

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
6	シニアクラブ（老人クラブ）の育成・活動支援	健康課	社会奉仕活動、生きがいを高める活動、健康づくりをすすめる活動などを行う、地域で自主的に活動するシニアクラブ（老人クラブ）に対して、助成金の交付等、各種事業を支援します。	シニアクラブ（老人クラブ）助成実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	シニアクラブに対する助成金交付数 114クラブ	
		健康課		広報紙「朗友」発行 2回	年2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回		2回	令和2年8月発行 10,000部 令和3年1月発行 10,000部 計 20,000部 発行
7	シルバー人材センター振興	高齢福祉課	社会参加のきっかけづくりや高齢者の雇用確保を図り、活力ある地域づくりを推進するため、シルバー人材センターの事業運営を支援します。	シルバー人材センターへの支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	会員数 941人 受託件数 2,500件	
8	雇用・就業支援	産業振興課	就職希望者や求人を行う企業に対し、関係機関と連携を図りながら、相談、セミナー、情報提供等を実施することにより、雇用・就業の促進、雇用環境の向上を目指します。	就業相談 週4日	週4日	週4日	週4日	週4日	週4日	週4日	週4日	◎	就業相談 153件 雇用相談 7件	
		産業振興課		高齢者向け就職支援セミナー 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回		1回	令和2年9月5日 再就職準備セミナー 22名参加
(2) 地域交流の支援														
9	生涯学習の支援・振興	生涯学習課	生涯学習センターの相談機能を充実するとともに、学習情報の収集と提供の充実を図り、区民の多様な学習要望に対応した学習機会を提供します。	学習支援ボランティア活用講座 40講座	年40講座	40講座	40講座	40講座	53講座	45講座	13講座	△		新型コロナウイルスにより、実施回数の減。
		生涯学習課		ガイドブックの発行 3,000部	年3,000部	3,000部	3,000部	3,000部	3,000部	ホームページ掲載	ホームページ掲載			ホームページ掲載のみに限定したため。
		生涯学習課		センターニュースの発行 24,000部	年24,000部	24,000部	24,000部	24,000部	24,000部	24,000部	24,000部		9,360部	
10	寿作品展示会の開催	健康課	シニアクラブ（老人クラブ）会員を中心として高齢者の絵画や書道、手芸などの作品を発表する機会を設け、併せて区立小学校、区立幼稚園・こども園の子供たちの作品展示を行い、多世代の交流を図ります。	寿作品展示会 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回	○	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2年度は開催中止した。
11	趣味の教室・講座・レクリエーションの実施と生きがいづくりの支援	高齢福祉課 老人福祉センター 老人福祉館 福祉課 社会福祉協議会	高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、各種催しを実施します。また、高齢者など、誰もが安心して暮らしていけるよう、地域での仲間づくりや居場所づくりを支援します。	ことぶき教室 480回	年480回	480回	480回	480回	480回	435回	466回	△		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数の減。
		高齢福祉課 老人福祉センター 老人福祉館 福祉課 社会福祉協議会		敬老の集い 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回			2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
		高齢福祉課 老人福祉センター 老人福祉館 福祉課 社会福祉協議会		ふれあいサロンへの助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
12	高齢者ふれあい入浴	高齢福祉課	健康の保持と地域との交流の促進、孤独感解消の一助となるよう、区内公衆浴場で利用できる割引入浴券を対象者に配付します。また、9月の老人の日前後の指定日に公衆浴場の無料開放を行います。	入浴券支給者数 9,250名	9,400名	9,300名	9,350名	9,400名	9,744名	9,857名	10,206名	◎		
		高齢福祉課		無料開放 2日間	2日間	2日間	2日間	2日間	2日間	2日間	2日間			

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
3. 健康づくりと介護予防の推進			【目標】 高齢者をはじめとする区民の生涯を通じた健康づくりを推進するため、健康管理と疾病予防の取組を推進します。区民と地域・区が連携して、高齢者一人ひとりの健康づくり、介護予防・重度化防止の取組を推進します。介護予防・日常生活支援総合事業を推進し、高齢者の状態に応じたサービスの提供や介護予防支援を行います。											
(1) 健康管理と疾病予防の推進														
13	健康増進センターの運営	保健サービス課	区民の自主的な健康づくりを支援・推進することを目的に、専門スタッフの指導のもと、身体状況に応じた運動プログラムの提供、栄養・生活指導等を行います。	利用者数 上野健康増進センター 24,960人	25,900人	25,900人	25,900人	24,845人	22,079人	5,126人	△		2年2月末～7月末まで休館。8月よりうんどう教室のみ再開（一部、休館中の振替教室を7月に実施した）。利用時間・利用制限を実施したため、利用者数は大幅に減少した。	
		保健サービス課		千束健康増進センター 9,810人	10,350人	10,350人	10,350人	10,735人	8,997人	3,261人				
14	総合健康診査・特定保健指導	保健サービス課 国民健康保険課	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に、台東区独自の上乗せ項目を追加した総合健康診査を実施します。また、特定健康診査の結果、生活習慣病の危険性が高いと判断された方を対象に、生活習慣病の予防・改善を目的とした特定保健指導を実施します。	総合健康診査受診率 46.0%	47.0%	46.0%	46.5%	47.0%	43.5%	43.4%	40.9%	△	(27年度実績：42.1%) (28年度実績：42.3%) (29年度実績：42.8%) (30年度実績：43.5%) (元年度実績：43.4%)	新型コロナウイルス感染症拡大による、受診控えのため。
		保健サービス課 国民健康保険課		特定保健指導実施率 20.0%	35.0%	25.0%	30.0%	35.0%	—	8.4% (平成30年度法定報告実績)	6.5% (令和元年度法定報告実績)			
15	がん検診	保健サービス課	がんの早期発見、早期治療を促進し、予防を図るため、胃・大腸・肺がん検診（40歳以上）、子宮頸がん検診（20歳以上の女性、隔年）、乳がん検診（40歳以上の女性、隔年）を実施します。	胃がん検診(40歳以上)受診率 5.0%	11.0%	10.0%	10.5%	11.0%	5.8%	8.5%	26.3%	△	(27年度実績：4.7%) (28年度実績：4.7%) (29年度実績：5.7%) (30年度実績：5.8%) (元年度実績：8.5%)	国の緊急事態宣言期間中の4月9日～5月25日において、厚生労働省の通知に基づき、健診事業を一時中止した。
		保健サービス課		大腸がん検診(40歳以上)受診率 26.5%	31.0%	30.0%	30.5%	31.0%	27.7%	27.0%	27.4%			
		保健サービス課		肺がん検診(40歳以上)受診率 4.5%	11.0%	10.0%	10.5%	11.0%	6.6%	6.7%	5.8%			
		保健サービス課		子宮頸がん検診(20歳以上の女性、隔年)受診率 28.0%	29.0%	28.0%	28.5%	29.0%	27.6%	27.3%	31.4%			
		保健サービス課		乳がん検診(40歳以上の女性、隔年)受診率 33.5%	37.5%	36.5%	37.0%	37.5%	33.1%	33.1%	36.3%			
16	歯科基本健康診査	保健サービス課	歯周疾患の予防と早期発見により、歯の喪失を予防します。健診の目的を「かかりつけ歯科医との出会い」「口腔疾患の予防・早期発見」として、区民が気心の知れた「かかりつけ歯科医」と二人三脚で、口腔の健康づくりの実現を目指します。	歯科基本健康診査受診率 9.0%	9.5%	9.5%	9.5%	9.5%	9.2%	8.6%	8.5%	○	(27年度実績：8.7%) (28年度実績：8.2%) (29年度実績：8.7%) (30年度実績：9.2%) (元年度実績：8.6%)	国の緊急事態宣言期間中の4月9日～5月25日において、厚生労働省の通知に基づき、健診事業を一時中止した。
17	食生活支援	保健サービス課	糖尿病・高血圧などの生活習慣病及び低栄養を防ぐ食事について、個別の栄養相談を実施し、健康づくりを推進します。	栄養相談相談件数 月3回 70件	月3回 年70件	月3回 70件	月3回 70件	月3回 70件	月3回 102件	月3回 81件	月3回(4～5月を除く) 75件	◎		

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等	
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度				
18	健康まつり	保健サービス課	区民の健康の保持・増進を図るとともに、地域が一体となって支え合う仕組みづくりを推進するため、健康に関する様々な情報を提供する健康まつりを実施します。	健康まつり 3回	年3回	3回	3回	3回	3回	7回	0回	○		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年度は中止とした。	
		保健サービス課		いきいき若返りまつり 協力団体数 85団体	100団体	100団体	100団体	100団体	74団体	81団体	81団体			81団体	まつりの対象者を広い年代に拡大したところ、高齢者団体が抜けてしまったため。
19	高齢者インフルエンザ予防接種助成	保健予防課	インフルエンザの感染予防を目的とし、インフルエンザ予防接種費用を助成します。	接種費用助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
20	高齢者肺炎球菌予防接種助成	保健予防課	肺炎の感染予防を目的とし、高齢者肺炎球菌予防接種費用を助成します。	接種費用助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
21	チャレンジフィジカルテスト	スポーツ振興課	自分の体力がどのレベルにあるか把握することで、スポーツ実施や健康管理に役立ててもらうため、区立のスポーツ施設等で体力診断テストを実施します。	チャレンジフィジカル テスト 2回	年2回	2回	2回	2回	2回	2回	0回	○		2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	
22	ラジオ体操会	スポーツ振興課	区民の体力向上と健康で明るい生活の基盤をつくるため、誰でも気軽に行えるラジオ体操の普及・振興を図ります。	ラジオ体操会場 142か所	142か所	142か所	142か所	142か所	142か所	142か所	33か所	○		2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数減。	
23	健康づくり啓発推進	保健サービス課	地域の健康づくりのリーダーとして「健康推進委員」を育成し、区民の自主的な健康づくり活動を推進します。健康推進委員は地域の保健・衛生について、連絡会や学習会等を実施し、普及・啓発活動を行います。	健康推進委員主催 健康学習会 45回	年45回	45回	45回	45回	47回	42回	0回	○		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年2月から中止。	
(2) 介護予防のための環境整備															
24	介護予防啓発	介護予防・地域支援課	介護予防に関する情報冊子の発行や、介護予防の知識・情報をまとめた啓発紙の作成・配布、講演会の開催等により、知識普及や意識啓発を図ります。	情報冊子発行 4,800部	年4,800部	4,800部	4,800部	4,800部	4,800部	6,000部	6,000部	◎		R2年5月発行	
		介護予防・地域支援課		啓発紙発行 2回	年2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回			2回	R2年8月 46,000部発行 R3年2月 46,000部発行
25	地域による介護予防活動への支援	介護予防・地域支援課	地域において住民の主体的な介護予防活動を広げていくため、体操等を地域に普及していくボランティアの育成・支援や、高齢者が主体的に活動できる通いの場づくりへの支援を行います。	ころばぬ先の健康体操 サポーター登録者数 48人	56人	56人	56人	56人	52人	53人	46人	△		辞退者8名 新規登録者1名	活動辞退者がいたことによる（高齢化、家族の事情など）
		介護予防・地域支援課		通いの場活動団体 57団体	90団体	68団体	79団体	90団体	60団体	58団体	58団体			新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通いの場団体の活動休止が続いているため。	
		介護予防・地域支援課		通いの場活動助成団体 10団体	11団体	11団体	11団体	11団体	3団体	0団体	0団体				
		介護予防・地域支援課		住民主体の通いの場づくり 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	中止				

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
26	身近な活動拠点における介護予防	高齢福祉課 老人福祉センター	住み慣れた地域で健康に暮らし続けることができるよう、身近な活動拠点である老人福祉センターや老人福祉館において、健康づくりや介護予防を目的とした事業を実施します。	笑顔の集い (講話とレクリエーション) 48回	年48回	48回	48回	48回	48回	44回	25回	○		2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小した。
27	シニアスポーツ振興	スポーツ振興課	高齢者の健康維持・増進を図るため、初心者でも参加できる教室事業等を台東区体育協会と連携して実施します。	シニアスポーツ振興事業 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	中止	○		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
28	地域のリハビリテーション専門職の活用	介護予防・地域支援課	地域における介護予防の取組を支援するため、地域におけるリハビリテーション専門職の活用を図ります。	リハビリテーション専門職の活用 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
(3) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進														
29	訪問型サービスの実施	介護予防・地域支援課 介護保険課	要支援者・事業対象者の多様な生活支援のニーズに対応するため、掃除や洗濯などの生活援助を中心とした訪問型のサービスを提供します。	訪問型サービス 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
30	通所型サービスの実施	介護予防・地域支援課 介護保険課	要支援者・事業対象者の多様なニーズに対応するため、機能訓練などの日常生活上の支援を実施する通所型のサービスを提供します。	通所型サービス 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
31	生活機能向上重点プログラム	介護予防・地域支援課	要支援者・事業対象者に対し、日常生活の動作改善、運動習慣の定着を目的に、運動、栄養、口腔の複合型プログラムを提供します。また、転倒予防に関する個別指導を区内接骨院で実施します。	複合型プログラム 定員90人	90人	90人	90人	90人	参加者29人	参加者31人	参加者0人	△	中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。
		介護予防・地域支援課		転倒予防(個別) 定員35人	35人	35人	35人	35人	参加者17人	参加者20人	参加者6人		新型コロナウイルス感染症の影響による参加者減のため。	
32	高齢者の健康づくり	介護予防・地域支援課	すべての高齢者を対象に、高齢者自身の介護予防に必要な知識の習得及び支援を目的として、介護予防に必要な教室等を実施します。	ふれあい介護予防教室 77回	年77回	77回	77回	77回	76回	67回	21回	△	参加者：延294人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため4月～9月までの教室を中止した。
		介護予防・地域支援課		介護予防に関する講座・教室 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		1回実施 27名参加	
		介護予防・地域支援課		健康カラオケ教室 2教室 定員60人	年2教室 60人	2教室 60人	2教室 60人	2教室 60人	2教室 60人	2教室 60人	2教室 19人		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による定員の縮減ため。	
33	高齢者はつらつトレーニング	介護予防・地域支援課	すべての高齢者を対象に、マシンを使用したトレーニングや脳トレを行い、個人の介護予防の取組を支援します。	トレーニング教室 28教室 定員266人	年28教室 266人	28教室 266人	28教室 266人	28教室 251人	28教室 266人	0教室 0人	△	中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。	

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）

○：半数以上達成（50～99%）

△：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等	
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度				
4. 地域における支え合いの仕組みづくりと生活支援の充実			【目標】 地域で生活する高齢者の多様なニーズに対応するサービスを拡充するとともに、地域全体での見守り・支援体制を充実します。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の早期診断・早期対応の仕組みの構築や認知症に関する正しい知識の普及を促進します。認知症や要介護状態になっても個人の尊厳が守られるよう、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の普及啓発や利用に関する支援を充実します。												
(1) 地域による見守りの推進															
34	高齢者地域見守りネットワーク	介護予防・地域支援課	ひとり暮らし高齢者等を対象に、関係協力機関が連携して、安否確認や声掛け、見守りを行います。また、地域全体による見守り体制の充実のため、見守りサポーターを養成します。	関係協力機関数	34機関	33機関	34機関	34機関	34機関	36機関	38機関	△	1回開催		新型コロナウイルス感染拡大に伴い、7月まで会議を中止した。
		介護予防・地域支援課		33機関 地区連絡会	14回	14回	14回	14回	14回	12回	8回				
		介護予防・地域支援課		見守りサポーター養成人数	150人	150人	150人	150人	129人	219人	8人				
		介護予防・地域支援課		見守りネットワーク通信発行	4回	4回	4回	4回	4回	4回	3回				
35	友愛訪問員派遣	高齢福祉課	地域の友愛訪問員がひとり暮らし高齢者宅を定期的に訪問し、話し相手になることで、孤独感の解消を図るとともに、見守りを行います。	派遣 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	友愛訪問員数 78人 訪問対象者数 75人			
36	ひと声収集	台東清掃事務所	決められた場所までごみを出すことが困難な方を対象に、清掃事務所職員が玄関先まで出向いてごみを収集し、併せてひと声かけて安否の確認を行います。	登録件数 200件	200件	200件	200件	181件	173件	206件	○			ごみの収集形態が、28年度から区内全域で自宅前（建物ごと）にごみをだす戸別収集となり、自力でごみをだすことが可能になったこと及び入院や施設入所などによる減少等のため。	
(2) 生活支援サービスの充実															
37	【新規】生活支援体制の整備	介護予防・地域支援課	多様な生活支援サービスの提供体制の構築を支援するため、地域の支援ニーズと地域資源とのマッチングや高齢者の社会参加につながる場の創出などを行うコーディネーターを配置するほか、協議体を設置します。	生活支援体制整備 —	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎				
38	福祉ボランティア育成・活動支援	福祉課 社会福祉協議会	在宅福祉サービス事業（家事・介護援助サービス、身の回り応援サービス）を行う、台東区社会福祉協議会への助成を通じ、福祉ボランティアの育成、活動の促進を図ります。また、介護支援ボランティアポイント制度を平成29年7月から3年間モデル実施します。	福祉ボランティア育成・活動支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎				
		福祉課 社会福祉協議会		介護支援ボランティアポイント制度 検討（モデル実施）	実施	検討（モデル実施）	検討（モデル実施）	実施	検討（モデル実施）	検討（モデル実施）	実施				
39	高齢者自立支援用具給付	高齢福祉課	歩行や入浴等の日常生活に支障がある在宅の高齢者に対し、利便性の向上や介護者の負担軽減を図るため、自立支援用具を給付します。	自立支援用具給付 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎				

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
40	高齢者移送サービス	高齢福祉課	高齢者が車いすやストレッチャーで乗降できるリフト付福祉タクシーを利用する際に、費用の一部を区が負担することで、利用支援を行います。	福祉タクシーの利用支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
41	紙おむつの支給	高齢福祉課	要介護認定を受け、常時紙おむつが必要な方、65歳以上で入院し紙おむつが必要な方に対して、紙おむつ等を給付します。	紙おむつ等の支給 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
42	寝具乾燥消毒	高齢福祉課	寝具の乾燥消毒が困難なひとり暮らし高齢者等を対象に、ふとんの乾燥消毒を実施し、衛生的で快適な就寝の確保など日常生活を支援します。	寝具乾燥消毒 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
43	老人専用電話助成	高齢福祉課	関係機関との連絡や安否確認、各種の相談ができるよう、ひとり暮らし高齢者等で本人名義の固定電話のみを所有する方に、毎月の電話の基本料金を助成します。	基本料金助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
44	老人福祉電話貸与	高齢福祉課	関係機関との連絡や安否確認、各種の相談ができるよう、電話のないひとり暮らし等の高齢者に対し、区名義の電話の貸与と毎月の基本料金を助成します。	電話貸与及び基本料金助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
(3) 認知症施策の推進														
45	認知症地域支援推進員による支援	介護予防・地域支援課	医療機関や介護サービス及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターとして、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方やその家族への専門的な相談支援や医療・介護のネットワーク構築等を推進します。	認知症地域支援推進員による支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
46	認知症の早期診断・早期対応	介護予防・地域支援課	医療・福祉・介護の専門職と医師で構成されるチームが、認知症地域支援推進員を中心に、認知症支援コーディネーターや関係機関と連携し、認知症の早期診断・早期対応を実施することで、地域における認知症の方とその家族を支援します。	認知症初期集中支援チーム —	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
		介護予防・地域支援課		認知症アウトリーチチーム 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施				
47	認知症高齢者への理解を深めるセミナー	介護予防・地域支援課	認知症に関する正しい理解と認知症予防を促進するためのセミナーを開催し、認知症高齢者の生活の質の向上及び家族の介護負担の軽減を図ります。	認知症セミナー 4回	年4回	4回	4回	4回	4回	2回	0回	○		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。
48	認知症サポーター養成講座	介護予防・地域支援課	認知症高齢者や認知症に関する区民の理解を深めるため、認知症サポーターを養成します。	認知症サポーター養成人数 2,300人	年2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	1,794人	942人	313人	△		感染拡大に伴い養成講座の実施を一時見合わせ。小中学校での実施を中止した。

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
49	認知症カフェの実施	介護予防・地域支援課	認知症高齢者とその家族が、地域の方や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う交流の場として認知症カフェを実施し、認知症の方の家族の負担軽減や認知症についての正しい知識の普及を図ります。	認知症カフェ 42回	年30回	30回	30回	30回	41回	38回	7回	○		新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月～8月まで開催中止した。
50	認知症高齢者専門相談	介護予防・地域支援課	認知症高齢者及びその家族・介護者の方などを対象に、認知症に深い理解と見識を有する専門家（精神科医師）が相談に応じます。また、必要に応じ、医療機関や地域包括支援センターでの継続的な支援につなげます。	専門相談 月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	◎		
51	認知症高齢者の家族に対する介護・こころのケア相談	介護予防・地域支援課	認知症高齢者の家族・介護者の方などを対象に、介護の方法や接し方、日頃の悩み等について、臨床心理士による専門相談を実施することで、こころの負担軽減・解消を図ります。	介護・こころのケア相談 月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	◎		
(4) 尊厳ある暮らしの支援														
52	高齢者位置確認システム	介護予防・地域支援課	認知症により徘徊がある在宅の高齢者を介護する方に、位置情報専用探索器の貸与と利用料の一部助成を行い、高齢者の早期発見・安全の確保に役立てるとともに介護者の精神的負担の軽減を図ります。	年間利用者数 30人	36人	34人	35人	36人	31人	23人	30人	○		入院・外出しなくなった等、状態の変化による廃止件数が多かったため
53	成年後見制度普及啓発・利用支援	福祉課 社会福祉協議会	社会福祉協議会と連携して、成年後見制度の普及啓発に関する取組を実施します。また、費用負担が困難な方に対する後見報酬等の助成や、本人または親族による審判申立が困難な場合の区長申立を行います。	成年後見制度 普及啓発・利用支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
54	市民後見人の育成・活動支援	福祉課 社会福祉協議会	社会福祉協議会と連携して、成年後見制度の担い手となる市民後見人育成のため、研修や事例検討会を実施します。また、社会福祉協議会が市民後見人の後見監督人を受任し、交流会の開催や日常的な業務に関する相談を受けるなど、活動を支援します。	市民後見人育成・活動支援 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	一部実施	○	市民後見人候補者登録面接を実施するとともに、引き続き社協で行っている地域福祉権利擁護事業の生活支援員としての活動を行った。	令和2年度の基礎研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
55	高齢者虐待等防止	介護予防・地域支援課		虐待防止セミナー 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	2回	0回	○		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。
		介護予防・地域支援課	セミナーや研修の開催を通じて、区民や介護事業者等に虐待防止に関する普及啓発を行います。また、関係機関及び団体等と連携し、虐待への迅速な対応に努めます。	高齢者虐待防止連絡会 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回			
		介護予防・地域支援課		福祉・保健・医療関係者等研修会 3回	年3回	3回	3回	3回	3回	3回	2回			新型コロナウイルス感染症拡大による開催数の見直しのため。
		介護予防・地域支援課		緊急一時保護 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施			
56	福祉サービスの利用支援	福祉課 社会福祉協議会 権利擁護センター 『あんしん台東』	高齢者等が必要なサービスを利用し、安心して生活できるよう、福祉サービス利用に関する相談等の受付、日常的な金銭管理などを行う社会福祉協議会の事業運営を支援します。	福祉サービス利用援助等 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

◎：達成（計画事業量100%以上）

○：半数以上達成（50～99%）

△：未達成（50%未満）

通し 番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度 計画	元年度 計画	2年度 計画	30年度	元年度	2年度			
5. 介護サービスの充実			【目標】 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、高齢者施設の充実を図ります。利用者の状況に応じた様々な介護サービスを、適切なケアマネジメントに基づき提供するとともに、利用者が安心して利用できるよう、介護サービス事業者等への研修などを行うこと、介護サービスの質の向上を図ります。また、介護者への支援を充実することで、心身の負担軽減を図ります。											
(1) 高齢者施設の充実														
57	区立特別養護老人ホームの老朽化対策	高齢福祉課	開設から20年以上経過し、老朽化が進行している既存の区立特別養護老人ホームについて、利用者のニーズや施設の状況等を踏まえ、改修を含めて老朽化対策の検討を進め、方針を策定します。	老朽化対策方針策定 検討	実施	検討	実施	—	検討	実施	—	◎		
58	認知症高齢者グループホームの整備	高齢福祉課	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、公募により事業者を選定し、認知症高齢者グループホームを整備します。	認知症高齢者グループホーム 累計8か所	1か所	—	—	1か所 (累計9か所)	—	—	— (累計8か所)	△	1事業者選定済、令和4年度開設予定	応募がない状況が続いていたが、2年度に応募があり選定済み。開設は4年度を見込んでいる。
59	緊急時対応職員の確保	高齢福祉課	台東区が設置する社会福祉施設の災害対策及び緊急事態に対応するため、区内居住職員を確保します。	職員確保 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
(2) 介護サービスの質的向上														
60	【新規】介護職に関する普及啓発	介護保険課	介護サービスに携わる質の高い人材を安定的に確保していくために、「介護の日」をPRするイベント等を通じ、介護職に関して普及啓発を図ることで、介護職への意識の醸成及び介護サービスに従事する人材の確保を推進します。	介護職に関する普及啓発 —	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	「介護の日」PRイベントは中止。パネルによる普及啓発は実施。(2年11月9日～13日)	
61	【新規】介護資格取得費用の助成	介護保険課	介護職の資格取得に要する費用を助成し、介護サービス事業所における介護従事者の人材確保やキャリアアップを支援します。	介護資格取得費用の助成 —	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	初任者研修 7件 実務者研修 20件	

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等	
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度				
62	介護事業者研修	介護保険課 介護予防・地域支援課	制度改正や社会状況の変化などに合わせた研修を実施し、介護事業者が提供するサービスの向上を図ります。 また、ケアマネジャーに対し、区の事業の周知・啓発を行い、ケアマネジメント業務効率の向上を図ります。	管理者研修 2回	年2回	2回	2回	2回	2回	2回	1回	△	受講者数 56名	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修の実施回数を減らしたため。	
		介護保険課 介護予防・地域支援課		介護職員実践研修 4回	年4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回		4回		受講者数 133名
		介護保険課 介護予防・地域支援課		専門力向上研修 4回	年4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回		3回	受講者数 166名	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研修の実施回数を減らしたため。
		介護保険課 介護予防・地域支援課		介護支援専門員研修 2回	年2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回		0回	中止	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。
63	介護相談員派遣	介護保険課	区内の介護保険施設等に定期的に介護相談員を派遣し、利用者や家族の相談に応じ、不安や疑問の解消を図ります。また、施設管理者等と意見交換を行い、介護サービスの改善を支援します。	介護相談員派遣 実施	実施	実施	実施	実施	実施	未実施	○	派遣事業所 0カ所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣を実施しなかった。		
64	介護サービス評価の推進	介護保険課	介護サービスの質及び利用者の利便性の向上のため、評価の推進を図ります。なお、評価結果は区のホームページで公表しています。	介護サービス利用者評価 実施	3年に1回 実施	—	実施	—	—	実施	—	◎	評価利用者数 1,704人		
		介護保険課		介護サービス事業者自己評価 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	評価実施事業者数 224件	
65	介護サービス第三者評価受審費用助成	介護保険課	介護サービスの質の向上を図るため、東京都の福祉サービス第三者評価事業の受審費用の一部を助成し、介護サービス事業者の評価受審を促進します。なお、評価結果は東京都のホームページで公表しています。	受審費用助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	助成事業所数 3事業所			
(3) 家族介護者への支援の充実															
66	家族介護慰労	介護保険課	在宅で重度の要介護認定者を介護する家族の精神的・身体的・経済的な負担を軽減し、在宅生活の継続と生活の質の向上を支援することを目的として慰労金を支給します。	慰労金の支給 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	広報たいとう・ホームページ等で周知をした。			
67	寝たきり高齢者介護慰労	高齢福祉課	要介護4・5の寝たきり高齢者を在宅で介護する家族の精神的・身体的疲労を癒すことを目的に、食事券またはマッサージ券を支給します。	食事券またはマッサージ券の支給 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎				

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等	
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度				
6. 在宅療養の推進			【目標】 医療や介護が必要な状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅療養を支援する取組の充実を図るとともに、医療関係者と介護サービス事業者間の連携を推進します。												
(1) 在宅療養支援の充実															
68	在宅療養連携推進	健康課	在宅での療養生活を支援するため、医療関係機関と介護サービス事業者等の連携強化を推進し、医療・介護の提供体制の充実を図ります。	在宅療養支援窓口における相談 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	相談対応件数 延302件			
69	口腔ケア連携推進	健康課	自宅や特別養護老人ホームなどで療養されている方が、歯と口腔の健康づくりに取組めるよう、相談等への対応や口腔ケアの講演会・研修会の開催を通じて、口腔機能の向上を図ります。	訪問口腔ケア 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	施設訪問・在宅訪問対応者数 延272人			
		健康課		講演会・研修会 4回	年4回	4回	4回	4回	9回	11回			2回		
(2) 医療・介護連携の推進															
70	医療・介護サービス情報の提供	健康課 介護保険課	パソコンやスマートフォン、携帯電話等によるインターネット接続サービスを活用して、医療機関・介護サービス事業者の情報や、居宅介護支援・通所介護サービスの空き状況等を提供します。	医療・介護サービス情報の提供 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	医療情報アクセス数 45,284件 介護情報アクセス数 22,851件			
71	医療連携推進	健康課	講演会の開催や医療マップの配布を通じて、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師（薬局）機能の普及啓発を図り、その定着を促進するほか、医療連携推進会議等を開催し、地域の医療機関の相互連携を推進します。	かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）の定着 実施	推進	推進	推進	推進	推進	推進	◎	薬剤師会主催（補助事業） かかりつけ薬局講演会1回実施 10人参加			
		健康課		医療マップの作成 実施	3年に1回 実施	—	—	実施	—	—			実施	35,000部作成	
72	入退院時情報連携シート	健康課	入退院時における、医療と介護の関係機関の情報共有や円滑な在宅療養への移行などを支援するため、情報連携シートの活用を図ります。	情報連携シートの活用 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎				

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
7. 住み慣れた地域で暮らせる環境づくり			【目標】 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、高齢者の生活に配慮した利便性の高い住宅の確保や民間賃貸住宅への入居支援を実施するとともに、住宅のバリアフリー化や改修の支援により、住まい環境の向上に取り組めます。高齢者が地域で安心して暮らせるよう、公共空間などのバリアフリー化や心のバリアフリーを推進します。また、緊急時などに高齢者の安全・安心を確保するための支援体制の充実を図ります。											
(1) 高齢者の住まいの確保と住まい環境の向上														
73	高齢者住宅の運営	住宅課	住宅に困窮しているひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯に対し、高齢者に配慮した安全で利便性の高い住宅を供給します。また、高齢者人口の動向を踏まえ、シルバーピアの新規供給を進めます。	高齢者住宅（シルバーピア）の充実 実施	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	◎	高齢者住宅生活援助員（LSA）を配置する高齢者住宅（シルバーピア）棟数 7棟	
74	サービス付き高齢者向け住宅の供給誘導	住宅課 高齢福祉課	高齢者の居住の安定を確保するため、バリアフリー構造等を有し、安否確認や生活相談など高齢者を支援するサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の供給を推進します。	支援メニューの活用 実施	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	◎	区内のサービス付き高齢者向け住宅 3棟173戸	
		住宅課 高齢福祉課		情報提供 実施	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進			
75	ケアハウス松が谷の運営	高齢福祉課	独立した生活に不安のある高齢者が安心して生活できるよう、食事の提供や緊急時の対応を行うケアハウスを提供します。	入居者数 38名	38名	38名	38名	35名	33名	34名	○	1人世帯 30名 2人世帯 4名 計34名	退去により空室が出たため。	
76	【新規】 居住支援協議会の実施	住宅課 高齢福祉課 介護予防・地域支援課	高齢者などの住宅確保要配慮者に対し、民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、居住支援協議会を設置し、住環境の向上に取り組んでいきます。	居住支援協議会 —	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	居住支援協議会12月開催（書面開催）		
77	高齢者等家賃等債務保証	住宅課	保証人が見つからないため、民間賃貸住宅への入居が難しい高齢者世帯等に対し、台東区と協定を結んだ保証会社が保証人の代わりに家賃等の債務保証を行い、保証会社に支払った保証料の一部を区が助成します。また、住宅を探すことが困難な世帯には住宅を探すことからサポートします。	家賃等債務保証助成 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎			
78	高齢者等住み替え居住支援	住宅課	継続居住の促進を図るため、民間賃貸住宅を自己都合以外の理由で立ち退いて、区内の別の民間賃貸住宅に転居する際にかかる費用の一部を助成します。	住み替え居住支援助成 3件	年10件	10件	10件	10件	4件	3件	2件	△	入居相談窓口を活用して転居先が見つかった事例もあったが、申込資格を満たさないなど対象外の方が複数いた。	
79	高齢者住宅改修給付	高齢福祉課	身体状況の低下により日常生活の動作に困難がある高齢者が、住み慣れた自宅での生活を継続できるよう、手すりの取付や段差解消工事、浴槽やトイレ等改修・新設工事の費用の一部を助成します。	予防給付件数 40件	年50件	50件	50件	50件	15件	12件	9件	△	住宅のバリアフリー化が想定よりも進展しているため。	
		設備給付件数 70件		年90件	90件	90件	90件	47件	48件	54件				
80	マンション共用部分バリアフリー化支援	住宅課	良好な住環境整備を促進するため、分譲マンション共用部分や自己所有賃貸住宅のバリアフリー改修工事の費用の一部を助成します。	マンション共用部分バリアフリー化支援 3件	年10件	10件	10件	10件	2件	2件	1件	△	共用部分手すりの設置	申請者の希望で工事をするものであり、2年度は新型コロナウイルス等の影響で、マンション管理組合の総会が開かれなかったため。

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

◎：達成（計画事業量100%以上）

○：半数以上達成（50～99%）

△：未達成（50%未満）

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
(2) 福祉のまちづくりの推進														
81	福祉のまちづくり推進	福祉課	心のバリアフリーの推進を目的に「心のバリアフリー」パンフレットを作成し、区内小・中学校へ配布するとともに、高齢者疑似体験を実施します。 また、診療所や薬局等、公共性の高い小規模医療施設のバリアフリー化工事に対する助成を行います。	高齢者疑似体験 16回 (累計109回)	年16回	16回 (累計125回)	16回 (累計141回)	16回 (累計157回)	16回 (累計125回)	18回 (累計143回)	0回 (累計143回)	△		学校の負担軽減及び、児童・生徒・教職員等の感染防止の観点から実施が困難となったため。
		福祉課		バリアフリー化助成 — (累計26件)	年2件	2件 (累計28件)	2件 (累計30件)	2件 (累計32件)	1件 (累計27件)	2件 (累計29件)	0件 (累計29件)			申請がなかったため
82	バリアフリーの推進	計画調整課	台東区バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、各事業者が一体的・重点的にバリアフリー事業を実施することにより、重点整備地区のバリアフリー化を促進します。	公共交通特定事業の進捗率 82.7%	90%	85%	87%	90%	(H30.10末現在) 84.7%	(令和元年6月末現在) 88.4%	91.6%	◎		
83	鉄道駅総合バリアフリー推進事業助成	計画調整課	鉄道事業者が行う鉄道駅エレベーター及びホーム柵等の整備事業に対し、その経費の一部を補助し、駅のバリアフリー化を推進します。	エレベーター設置 — (累計5か所)	1か所	—	1か所 (累計6か所)	—	—	1か所 (累計6か所)	— (累計6か所)	◎		
		計画調整課		ホーム柵設置 1か所 (累計1か所)	1か所	1か所 (累計2か所)	—	—	1か所 (累計2か所)	— (累計2か所)				
84	安全・安心な道づくり	土木課	すべての利用者が安全かつ快適に道路を通行できるよう、歩道のバリアフリー化を実施します。	歩道のバリアフリー化 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	令和2年度は511m整備	
(3) 安全で安心して暮らせる環境づくり														
85	避難行動要支援者対策の推進	危機・災害対策課 高齢福祉課	災害時に自力で避難することが困難な高齢者などに対して、地域で安否確認や避難誘導などの支援が円滑にできるよう、本人の同意を得た上で名簿作成及び関係機関等への提供を行い、地域と連携・協力できる環境整備や支援体制の向上を図るとともに個別避難支援計画を作成します。 また、避難所などでの暮らしを支援するため、二次避難所（福祉避難所）の運営体制の取組を推進します。	避難行動要支援者名簿の運用 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎	避難行動要支援者名簿の作成及び避難支援等関係者（警察・消防・民生委員等）への提供	
		危機・災害対策課 高齢福祉課		個別計画の作成 検討	推進	実施	推進	推進	実施	推進	推進			本格実施にむけたシステム改修調査項目内容検討
86	医療情報等の活用支援	危機・災害対策課 介護予防・地域支援課	緊急時に本人確認や救急活動がスムーズに行えるよう、医療情報等が記載できる「救急安心カード」や「救急医療情報キット」を配布します。	救急安心カード・救急医療情報キット配布 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	◎		
87	高齢者緊急通報システム	高齢福祉課	慢性疾患のあるひとり暮らしなどの高齢者に対し、受信センターに通報できる機器を貸与するとともに費用の一部を助成します。家庭内で急病等の通報があった際は、受信センターが状況確認し、必要な対応を行います。	稼働台数 230台	240台	233台	236台	240台	216台	204台	207台	○		携帯電話等の普及により、想定よりもニーズが減少している。

第7期（H30～R2年度）台東区高齢者保健福祉計画の実績

◎：達成（計画事業量100%以上）
 ○：半数以上達成（50～99%）
 △：未達成（50%未満）

新型コロナウイルス感染症により、事業実績に影響があったものは「達成状況が○または△の場合の理由」欄に内容を記載

通し番号	計画事業名	主管課	事業内容	実施内容 計画策定時の状況 (29年度未見込)	計画事業量	年度別事業計画			年度別実績			評価	備考	達成状況が○または△の場合の理由等
						30年度計画	元年度計画	2年度計画	30年度	元年度	2年度			
88	家具転倒防止器具取付	高齢福祉課	高齢者がいる対象世帯に対し、家具転倒防止器具の取付を行い、地震発生時の事故防止や避難路の確保など住まいの安全性を高めます。	助成件数 40件	年50件	50件	50件	50件	44件	13件	15件	△		想定よりもニーズが減少している。
89	防災行動力の向上	危機・災害対策課	総合防災訓練などの各種訓練や防災フェアの実施を通じて、区と区民及び防災関係機関の連携強化を図り、災害時における防災行動力の向上を図ります。	総合防災訓練 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	△	令和2年11月22日、蔵前ポンプ場前 駐車場にて開催。コロナの影響を鑑み、区民参加はせず、区職員と防災関係機関のみで実施した。 参加人数：102人	
		危機・災害対策課		避難所単位防災訓練 18回	年18回	18回	18回	18回	18回	18回	18回		0回	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。
		危機・災害対策課		防災フェア 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	0回	0回		令和2年度はコロナ感染拡大防止のため、生涯学習センター1Fで展示のみを行った。また広報たいとうやHPの作成などを行い、周知を図った。 元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。2年度は感染拡大防止のため、生涯学習センター1Fで展示のみを行った。	
90	防犯意識の高揚・啓発	生活安全推進課	振り込め詐欺などの犯罪被害に遭わないよう、様々な情報媒体を用いて、犯罪・防犯情報を速やかに提供することで、生活安全に関する意識の高揚を図ります。	安全・安心電子 飛脚便 新規登録者 1,000人	年1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,093人	862人	648人	○		広報課のたいとうメールマガジンと統一した（行政計画からは削除済み）。
		生活安全推進課		生活安全ニュース発行 1回	年1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回		1回	
		生活安全推進課		安全・安心かわら版の配信 実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	
91	消費生活支援の充実	くらしの相談課	高齢者の消費生活を支援するため、消費者講座及び出前講座の実施や消費者ニュース「くらしのちえ」の発行等を通じて、消費者啓発を推進するとともに、消費者被害の未然・拡大防止を図ります。	出前講座 30回	年30回	30回	30回	30回	36回	36回	10回	○		出前（出張）する高齢者の集い自体が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開かれなかった。
		くらしの相談課		消費者ニュース くらしのちえ発行 6回 各3,000部	年6回 各3,000部	6回 各3,000部	6回 各3,000部	6回 各3,000部	6回 各3,000部	6回 各3,000部	6回 各3,000部		6回 各3,000部	

合計 91事業